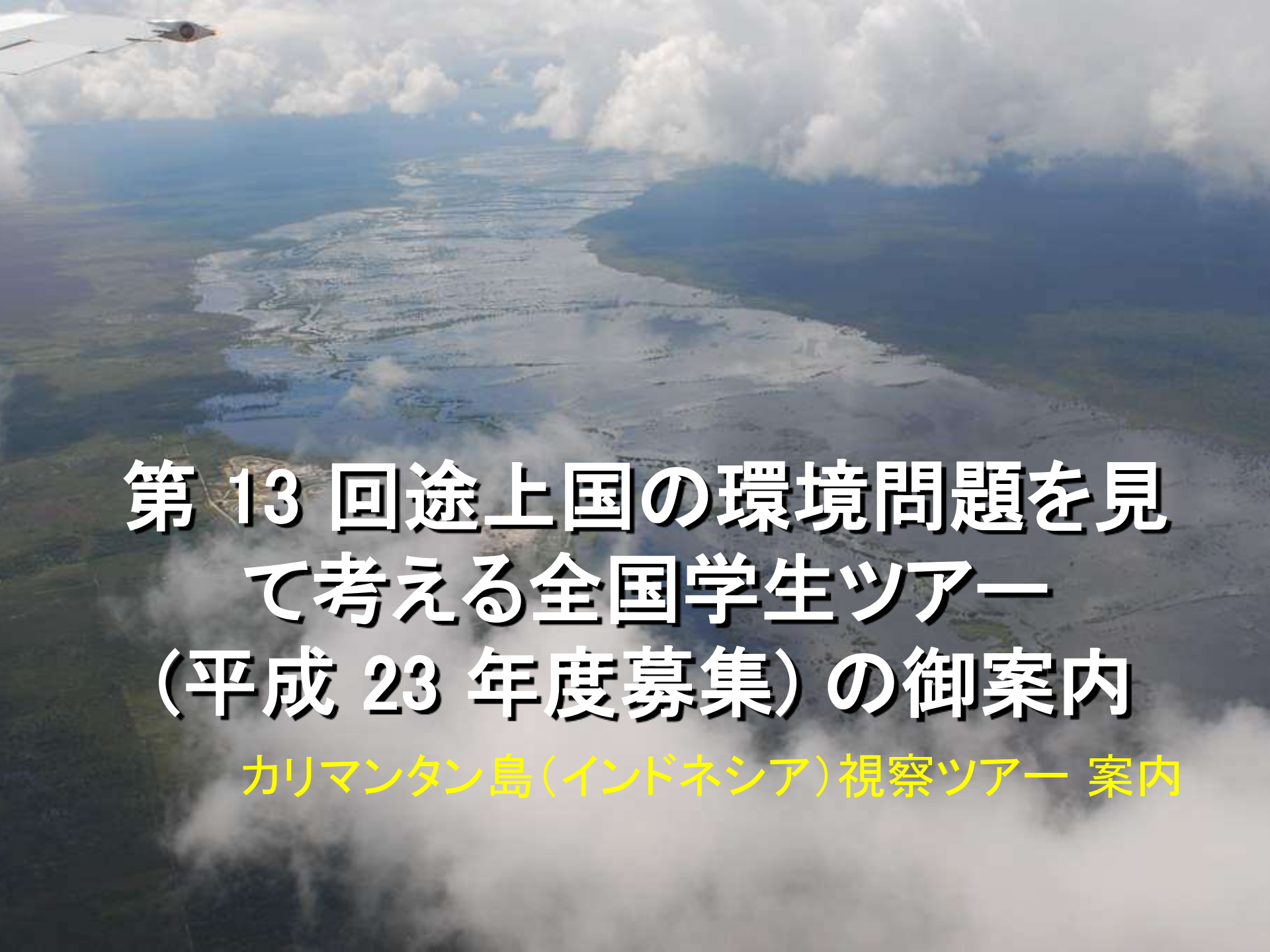


第 13 回途上国の環境問題を見て考える全国学生ツアー（平成 23 年度募集）の御案内

カリマンタン島（インドネシア）視察ツアー 案内

インドネシアは今や世界第三位の CO_2排出国であるという試算がある（WWF,2008）

- インドネシアは，以前は21番目にCO_2を排出する国とされていたが，泥炭火災や森林の減少を考慮した結果，中国に次いで世界第三位のCO2排出国であるとされている.
- インドネシアは年間5ギガトンの CO_2 を2007年に排出したと試算された.

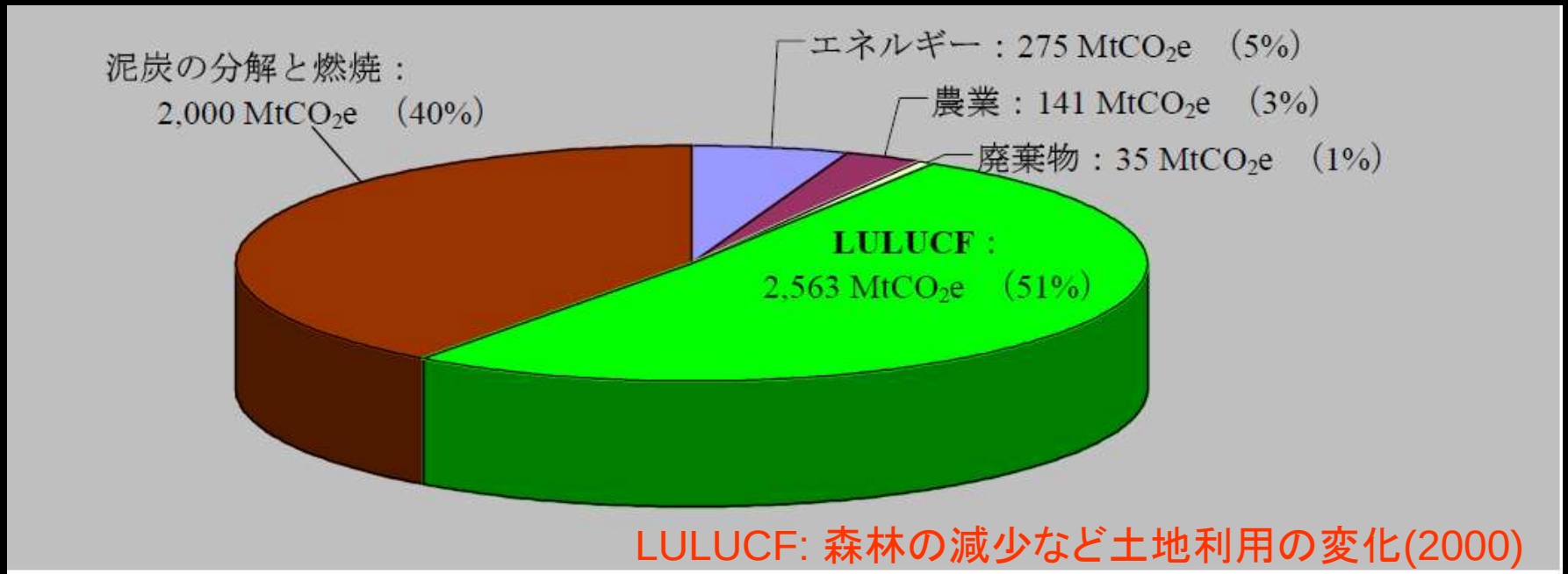


図 1.—インドネシアの温室効果ガス排出源 （データ：エネルギー分野は 2004 年、農業部門は 2005 年、廃棄物分野は 2005 年、LULUCF は 2000 年[9 11]）

開発された泥炭湿地の火災
（北海道大学　早川博士提供）

パランカラヤ市近郊の泥炭火災
（2009年，北海道大学早川博士提供）

火災によって根から枯れる
北海道大学早川博士提供

太陽の見えない空
北海道大学早川博士提供

スマトラ島からマレーシアへのヘイズの越境（NASA, 2005）

エルニーニョ発生年（2009）におけるホットスポット（火災）の分布

第 13 回途上国の環境問題を見て考える 全国学生ツアー(平成 23 年度募集) の御案内

主催: 土木学会(担当:環境工学委員会・海外環境教育に関する小委員会)
協力:SATREPS プロジェクト「インドネシアの泥炭における火災と炭素管理」
JICA, JST, パランカラヤ大学(Prof. Sulmin Gurimiほか)
北海道大学サスティナビリティ学教育研究センター

研修日時: 2012 年 3 月 3〜9 日(7 日間)
募集締め切り:2012 年 1 月 13(金)
費用概算:食費・宿泊費込で14万円程度(成田発着)

対象: 全国の大学生(高専を含む)、大学院生、教職員、研究所員、他(企業の方も歓迎)

訪問地:インドネシア国カリマンタン島中央カリマンタン州パランカラヤ市周辺

目的と実施概要

- 海外(途上国)の環境問題の現場を視察し、現地の大学の研究者や学生および国際協力に係る国連・政府機関と企業の行政官や技術者との学術研究交流や意見交換および国際交流を行うことを主目的としています。(H21:ウィーン・ドナウ, H22:ベトナム)
- 今回はSATREPS プロジェクト「インドネシアの泥炭における火災と炭素管理」の学生ツアー(2012年2月下旬～3月上旬開催予定)に一部参加する形でインドネシアカリマンタン島のパランカラヤ市周辺の環境問題を視察する体験型の学生ツアーです

視察内容

- メガライスプロジェクトにおける開発された泥炭地における泥炭火災の実態
- セバンガウ川周辺の熱帯泥炭林
- 砂金採掘に伴う水銀汚染現場（予定）
- パランカラヤ大学において熱帯泥炭林と地球温暖化の関連性に関する研修，水銀汚染に関する研修
- 現地の研究者や住民との交流

日程表

- 3 月 3 日(土) 成田空港発 09:15 (NH937) 15:00 ジャカルタ　スカルノハッタ国際空港第二ターミナル着、第一ターミナルへ移動後　19:35ジャカルタ発　JT678　21:15着　パランカラヤ市内泊
- 3 月 4 日(日) 午前　パランカラヤ大学における研修・ワークショップ　午後　メガライスプロジェクトのブロックCエリア視察　パランカラヤ泊
- 3 月 5 日(月) 砂金採掘現場視察　パランカラヤ泊
- 3 月 6 日(火) 熱帯泥炭林視察　パランカラヤ泊
- 3 月 7 日(水) パランカラヤ大学での研修・ワークショップ
- 3 月 8 日(木)　8:25パランカラヤ発（GA551）　ジャカルタ10:05着．ジャカルタ市内の環境を見学，ジャカルタ21:15発（NH938）
- 3月9日（金）6:35 成田空港着　解散
- 宿泊ホテル：Hotel Lampang（無料にて無線LAN可能，インドネシア料理，パン・コーヒーの朝食付き）

- （視察内容・日程は変更の可能性があります）

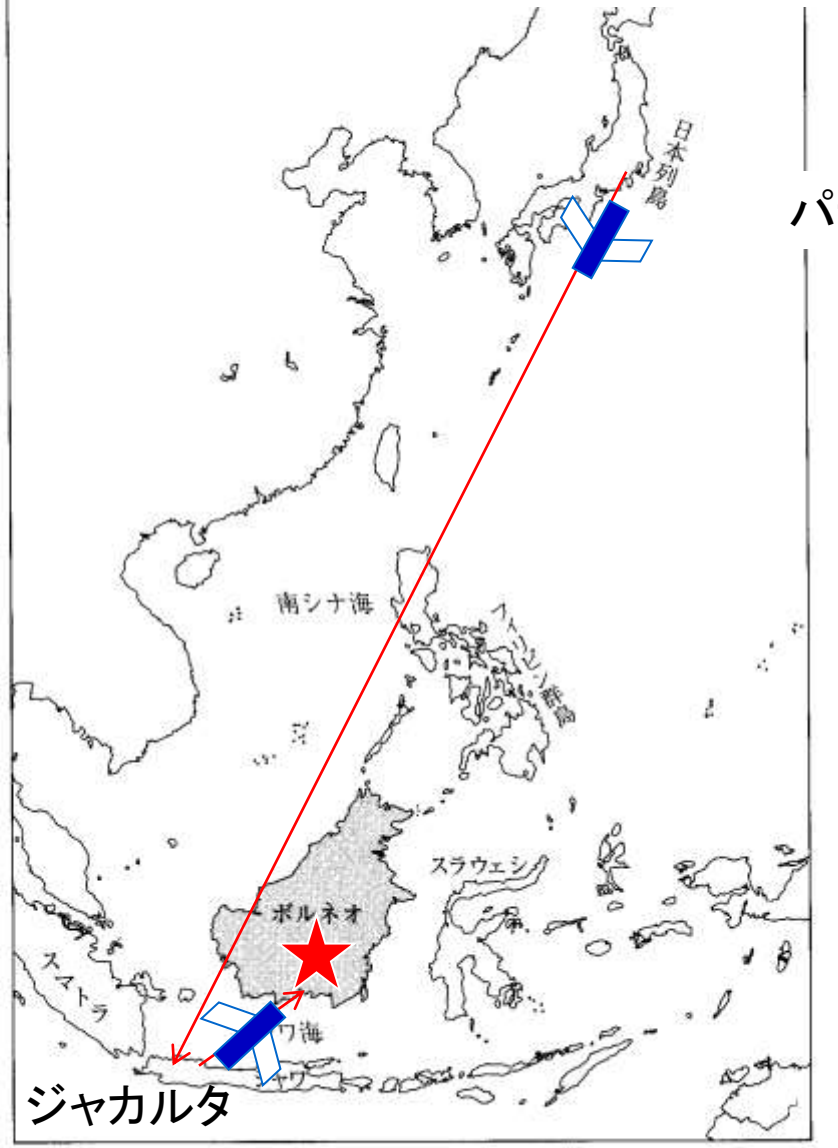
申し込み方法

- Eメールにて、
- 1) 氏名（漢字＋ローマ字）、2) 所属（大学・学部・学科名、学年）、3)生年月日、4) パスポート番号<取得予定日も可>、4) 研修の興味および御希望についてのメモ（数行以内）をお知らせ下さい。ただし、定員は総員 15 名程度とし、受付は原則として申し込み先着順で、学生会員を優先とさせていただきます。（**平成24年1月13日締め切り**）。
- お問い合わせ先: 山本浩一（土木学会・環境工学委員会・海外環境教育小委員会委員）
- 〒755-8611 山口県宇部市常盤台2-16-1　山口大学工学部社会建設工学科
- E-mail k_yama@yamaguchi-u.ac.jp
- TEL／FAX　0836-85-9320

参加条件

- 1) 全国の大学生、大学院生、教職員および土木学会会員（企業の方も歓迎）。
- 2) パスポートの有効期限が半年以上残っていること。
- 3) 海外旅行に参加するにあたって心身ともに健康な状態にあること。
- 4) 最低限度本ツアーが指定する海外旅行障害保険に入ること(3 月 3～9 日の7日間、その前後は自己責任対応)。
- 5) 個人荷物は機内持ち込み7kg以内, スーツケースは20Kg 以内でスーツケースの最大サイズは 三辺合計203cm 以内
- 6) 事前の学習と自己紹介の英語版パワーポイントの作成<参加予定者には研修ツアーの関連資料を Internet 又は郵便で送りますが、３月末までに数頁程度の英語版報告書作成が義務づけられます。<基本的に現地ツアー資料および現地説明および国際セミナーと学生交流会は英語で行われます>

訪問地：中央カリマンタン州パランカラヤ市



ボルネオ周辺図

図1-4　中部カリマンタンの河川.

Osaki et al (2008), BORNEO, Iwanami books

３月は雨季に当たるため時々スコールに遭遇します．雨具などは必須．　気温は25-30℃

雨季のセバンガウ川

熱帯泥炭林（Peat swamp forest）

セバンガウ国立公園視察

開発された泥炭地の視察

パランカラヤ市

宿泊予定ホテル

ヤモリがお出迎え

カハヤン川まで歩いて5分

食事

魚介類・牛肉・鶏肉を使った料理が多い．野菜もあります．

中華風のインドネシア料理も

多数のご参加お待ちしております!!

主催：環境工学委員会・海外環境教育に関する小委員会
協力：SATREPS プロジェクト「インドネシアの泥炭における火災と炭素管理」
JICA，JST，パランカラヤ大学，北海道大学サスティナビリティ学教育研究センター